

KTK いづみ福祉会を 守る会だより

2023. 冬 NO.72

☆児童デイサービス☆
～環境の森センターに見学に行きました～



新年ご挨拶

社会福祉法人 いづみ福祉会
理事長 坂本 利正

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から格別のご支援を賜り心から御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、ウイルス変異を繰り返しながら、未だ終息が見えない中で三度の越年となりました。いづみはご利用者ならびに職員の安全を守るため、本年も引き続き行政機関・医療機関等と緊密に連携し、ご家族のご協力もいただきながら、万全の態勢で取り組んで参ります。

いま世界は、ロシアの残酷なウクライナ侵略や近隣国による軍事的脅迫、さらに人種による分断やマイノリティーに対する偏見など、連日の報道に心が痛みます。何れも等しく尊重されるべき人権への侵害であり、国連の人権宣言やあらゆる差別解消の施策を空虚なものにしてはなりません。

いづみは障害者福祉という大事な役割を全うするため、命の大切さと人権の尊重を経営理念に掲げ、不断の実践に努めております。しかしながら、人権意識は常に振り返りによる確認と職員間での共有が重要となってきます。人権研修を繰り返し実施しながら職場に根付かせ、ご利用者にとっても職員にとっても明るく楽しい支援活動の展開を常に目指しております。

さて、新年の干支は「癸卯（みずのとう）」。「停滞した世の中に希望が芽吹く年である」と言われます。本年こそ戦争の停止、感染症の終息、偏見・差別の解消が実現し、誰もが安全で安心な社会を謳歌できる平和な世界が花開くよう、希望を持って歩んで参りましょう。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、倍旧のご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。



木津川市にある京都府立南陽高校さんよりご依頼をいただき、ワーキングセンターご利用者2名と須河事業部長が人権学習に参加をし、みなさんの前でお話をさせていただきました。地域で暮らす障害のある方の気持ちや生活の様子を知っていただく機会となりました。

お二人が語った言葉に対する南陽高校生の感想の抜粋と要約です。

- …先日、バスに一人で乗れなくて苦労していた人に私は何もできませんでした。
- …私は障害のある人を「怖い」と思ったことはありませんが、「助けなければ」と思ったこともありませんでした。今日の話聞いて無意識の「見て見ぬふり」や「無関心」が差別につながっているのではないかと、気づくことができました。
- …私には重い障害のあるところがあります。そのいとこのことを周囲の人は「かわいそう」だと言います。重い障害があっても介助が必要でも、人間はそれぞれの普通」を生きています。その「かわいそう」という言葉は、彼の「普通の姿」を否定しているように感じます。
- …自分自身の「気づかない差別や加害行為＝車いすのタイヤがパンクするようなゴミを落としたり、点字ブロックに物を置いたり、困っている人を見て見ぬふりをしたり…」に気がつきたいと思いました。
- …小学生の時の人権学習で「障害を持っている人」という言い方について、先生から「障害は持ったりおろしたりできないし、持ちたくて持っているんじゃない」と教えられたことを思い出しました。



- …私はチューバという楽器を演奏しています。とても大きくて重い楽器で持ち運びや移動はたいへん不便ですが、いつも誰かが道を譲ってくれたり、ドアを開けてくれたり、代わりに持ってくれたりという支えを受けています。そのおかげで、自由な演奏活動ができています。お話を聞いて、自分が受けている支えをもっと他の人に広げられるような人になりたいと思いました。
- 講師の方が「…あなたにできる事は何ですか？」と問われました。今の私に、何かできるかどうか自信がありません。…障害がある人や困っている人に、気軽に声を掛けられるような「社会の雰囲気」が必要です。でも、どうやったら、その雰囲気を作ることができるのでしょうか？
- …私の叔母には障害があります。その叔母と最近趣味の話で大盛り上がり。とても楽しみました。その接し方が、間違っていなかったことが今日の授業でわかりました。今日の話、家に帰って家族で話し合いたいです。…最後の動画の男の子の話、私はその学年の人達を知っています。すごく仲のよい学年で、私たち下級生にもすごく優しくしたのを思い出しました。…紹介されたハンカチが欲しいです。



- …今日の話聞いて階段しかない建物自体が問題なのだとわかりました。
- 私は、最初「人権学習」と聞いて、正直「またかいな」、「何回目やろ」と思っていました。すみません。でも、ご本人の話聞くということが初めてで、先生方の話を聞くだけでは全く違って、なんとはいえよいかわかりませんが、すごく心に響きました。
- …「共に生きる」「困っている人を助けよう」という言葉をきれいごとにならず、日常生活で具体的に行動しなければならないと思いました。
- …今日の話聞いて、有限である自分の時間と力を誰か他の人のために使えるようになりたいです。

- …私の親戚に発達障害の子がいます。今まで、私が知ることができていた発達障害のある人についての情報は、「他人の目線」の情報ばかりでした。今日の二人の話はそうではなく、とても貴重で有意義なものでした。私たちは、発達障害などの障害や特徴のある人どのようにコミュニケーションをとればいいのか。知りたくなりました。

このような高校生の感想に、私たちが付け加える言葉はありません。

あなた方の言葉に、私たちは勇気とエネルギーをたくさんいただきました。

南陽高校の皆さん、ありがとうございました。（須河）



発表をされたご利用者にも感想をお聞きしました！

T. Yさん（クラフト班）

Q. 発表した感想はどうでしたか？

A. もっとこういう場があれば、出てみたいと思いました。

普段の自分を知ってもらいたい機会でした。また、いつかの職員に将来なってもらえたら…と思って話をしました。



↑ 作業で作っている草木染の製品なども持ってきて、学生のみなさんに見ていただきました。

S. Rさん（パワカラ班）

Q. 緊張などはされませんでしたか？

A. いつみで宣伝隊長、営業部長として、お客さんに作業のことなど、いろいろ説明しています。昔は引っ込み思案でしたが、そのことで、慣れていったので、緊張はないです。



「第23回 京都府 障害者のつどい」の 記念品を納品しました！！



この度、11月19日に木津川市で行われた、『第23回京都府障害者のつどい』の記念品に、ワーキングセンターいづみの「手すきハガキ」といづみワーキングサポートちくたくの「刺し子ポチ袋&しおりセット」を納品しました。それぞれの事業所に感想を伺いました。

【ワーキングセンターいづみ】

記念品に、ワーキングセンターの手すきハガキが選ばれ、納品数などが決まったことをご利用者にお伝えすると、

「やったー！！」「注文や！！」など歓声が上がりました。また、納品数に合わせて、紙すきの時間を増やして生産することを提案すると、「きれいに作らないと」と、すぐに前向きな言葉も聞かれました。

次の日から目標に向けて、全員で取り掛かりました。「喜んでくれるかな」など受け取っていただくお客様を想像しながら、楽しんで作ることが出来ました。喜びや達成感を共有できる素敵な機会となりました。(中井)



【ワーキングサポートちくたく】

ワーキングサポートちくたくが 以前から南山城村の道の駅で販売をしている「刺し子のポチ袋」をアレンジし、「刺し子ポチ袋&しおりセット」を作成しました。作ってみての感想をご利用者伺ってみました！！ (神田)

- ・ しおりは今回初めて作りました。紙の大きさが違い少し難しかったです。
- ・ 色の組み合わせを考えるのに悩みました。
- ・ 自分たちの商品が記念品として使ってもらえるのは、嬉しいです。





「親なき後について具体的に考える」をテーマに勉強会を開催

いづみ家族会 安藤早苗

勉強会のはじめに、「いづみ福祉会は現在、人材確保が困難な状況が続いており、人手の確保に苦労している」とのお話がありました。グループホームの運営についても、人手不足が続き、今の時点で新規グループホームの整備を検討するのは難しいとのことでした。

改めて、そのようなお話を聞き、これからは個々でも将来を考えていくことが必要になってくるということで、本題となる「今、何をしないといけないのか」について講演をして下さいました。

まずは、どんな暮らし方があるのかを知ること。多くの事例を見て聞いて知って、そのなか

から合いそうな暮らし方に当てはめ、アレンジして自分流を作り出していくことが大切なのだそうです。そして、そのスタイルで本当に暮らしていけるのか。親子で体験の機会をもって、現実につなげていくことが重要な取り組みになることを、圏域の状況を紹介しながら教えて下さいました。その他、金銭管理についてもご紹介いただきました。最後に今ある資源の一つとして、障がいのある子をもつ「親」が貴重な人材であると締めくくられました。

私たち親は、今まで以上にいづみ福祉会と連携をとり行政を巻き込みながら、子どもたちの将来を考えていかなければならないと感じました。

インフォメーション

ワーキングセンターより…

クラフト班

◆ イベント 『奈良町物語館 販売会』



☆ 草木染のショールや手織りのかばんなど…やさしい色合いの商品がそろっています。

◇時期 1月13日(金)～1月16日(月)
2月22日(水)～2月27日(月)

◇時間 [平日] 11時～15時
[土日祝] 10時～17時

◇場所 奈良町物語館

開催の日程については、随時、こちらのInstagramで紹介中！

クラフト班・Instagram イベント、販売告知、販売会に向けての作製中の様子などを投稿しています。皆様のフォローといいね！をお待ちしています。



パン班

毎月 第3土曜日
パン販売



次回は・・・

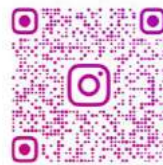
●1月21日(土)

●2月18日(土)

10時～13時



パン班・Instagram フォローをお願いします！



IDUMI_FLEUVE

QRコードでも読み込んでいただけます！



※新型コロナウイルスの感染状況等によっては、販売中止や販売時間変更になる可能性もありますがご了承ください。



会費納入ありがとうございました！！



2022年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。
個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）

（2022年10月21日～2022年12月10日受付分）

阿部 洋子	伊地知 文雄	伊地知 節子	伊藤 美津子	伊藤 博子	井上 テルノ	臼谷 由美子
大垣 啓子	岡本 悠祐	川畑 國男	北辻 智美	北村 綾子	黒川 嘉代子	小林 慶昭
新谷 裕美	竹中 和子	西田 衣代	農澤 昌子	秦 良彰	濱野 陽子	藤村 信子
古城 笑子	松田 幸雄	松本 清次	松由 大	三好 徳子	森本 繁蔵	山内 康司
山本 安延	横井 ゆき子	吉中 俊子	渡邊 かおる	ろっぽのみみ		

…会費は法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。

*郵便局からの情報到着までに時間差があり、掲載できていない方がおられる可能性があります。申し訳ありません。

ご寄付ありがとうございました。

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2022年10月21日～2022年12月10日受付分）

お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

河原 凱栄様	松田 恵美子様	山田 多賀子様	来住 弘之様	北森 恭子様
鈴木 久代様	澤吉 由美子様	石崎 敬子様	山岸 裕 様	平岡 祥弘様
馬場 久代様	小川 めぐみ様			

（株）阪田モーター商会様 一般財団法人 日本レコード協会様

現金、ミキサー、衣装ケース、CD、ラジカセ、パズル、かるた、雑巾、お茶碗、湯飲み
大根、みかん、柿、味噌

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。
また、ご家庭に不用品な タオル、電気ポット、掃除機、洗濯洗剤、雑巾、大きなプランター、
フードプロセッサー、加湿器 がありましたら、よろしくお願ひします。

衣類・お茶碗・湯飲みにつきましては、たくさんのご支援をいただき、受付を終了させていただきます。

編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL：0774-66-4114 FAX：0774-76-0070

URL：<http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

《 編集委員 》

いづみ家族会：小川

法人職員：丸岡伸、大久保、神田、土井